

1月給食だより

とうきょうとりついたばしとくべつしえんがっこう
東京都立板橋特別支援学校

こうちょう あまこ そういち
校長 尼子 創一

あけましておめでとうございます。今年も安心安全を第一に美味しい給食提供に努めてまいります。今年も一年どうぞよろしくお願ひいたします。



はんしん あわじ だいしんさい ねん

阪神・淡路大震災から30年

さいがいじ しょうそな 災害時の「食」を備えましょう

1995年1月17日に、阪神・淡路大震災が発生しました。寒さ厳しい中、被災した多くの人たちを支えたのは、ボランティアによって届けられた炊き出しの「おむすび」です。震災発生から5年が過ぎた2000年、兵庫県が事務局を務める「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」は、食料の重要性や、ボランティアの善意を忘れないために、この日を「おむすびの日」と決めました。

阪神・淡路大震災の発生から今年で30年となります。昨年元日に発生した令和6年能登半島地震が記憶に新しいですが、この30年の間にも各地で大きな災害が頻発しています。災害発生直後は支援が届かないということを前提に、一人ひとりが自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えをしっかりとしておくことが大切です。

<リクエストメニュー>

1月30日 3年G組



今月は3年D組の生徒に考えてもらったメニューを提供します。D組からはほぼ満場一致で、ラーメンが食べたいというリクエストをもらいました。当日は豆乳を使ってスープを作り、いつもと少し違う味わいのラーメンを提供する予定です。

<学校給食週間>

1月24日 <じらのオーロラ煮>

1970年代まで学校給食にはクジラ肉がよく提供されていました。当時、クジラの肉は鶏肉や豚肉よりも安く、栄養価も高かったためたくさん使われていました。1980年ごろより値段が高くなっていったため給食に出されることは少なくなりましたが、今回は給食の歴史を知る機会として提供します。

